

## 令和 5・6 年度複合構造委員会 第 6 回幹事会 議事録

日 時：2024(令和 6)年 3 月 15 日(金) 16:00～18:00

場 所：東横 INN 佐賀駅前会議室 Web 併用 (Zoom)

出席者：牧委員長，大山副委員長，皆田幹事長，大久保幹事，川端幹事，北根幹事，齋藤幹事，櫻庭幹事，塩畑幹事，平幹事，内藤幹事，中村幹事，仁平幹事，橋本幹事，藤林幹事，山本幹事，岡崎事務局（取消線は欠席）

配布資料：

- 幹6-0 令和5・6年度複合構造委員会第6回幹事会議事次第
- 幹6-1 令和5・6年度複合構造委員会第5回幹事会議事録（案）
- 幹6-2 令和5・6年度複合構造委員会幹事会業務分担
- 幹6-3 令和5年度委員会予算執行状況
- 幹6-4 令和6年度全国大会・研究討論会
- 幹6-5 令和6年度全国大会・共通セッション
- 幹6-6 第10回FRP複合構造・橋梁に関するシンポジウム
- 幹6-7 土木学会論文集特集号（複合構造）
- 幹6-8 複合構造の継続教育
- 幹6-9 300年暴露PJ報告
- 幹6-10 出版関連報告
- 幹6-12 H101 複合構造標準示方書小委員会
- 幹6-13 H109 複合構造技術の発展に関する調査小委員会
- 幹6-14 H110 Society5.0に向けた社会インフラの管理システム構築のための調査研究小委員会
- 幹6-15 H220 グリーングレーハイブリッドインフラの評価に関する研究小委員会
- 幹6-16 H221 樹脂・FRP材料による複合技術研究小委員会
- 幹6-17 H222 複合構造におけるプレハブ・プレキャスト工法の活用に向けた研究小委員会
- 幹6-18 構造系研究委員会のカーボンニュートラルに関するPDについて
- 幹6-19 令和6年度能登半島地震調査団の派遣について
- 幹6-20 令和6年度「かけはし賞」について
- 幹6-21 IABSE symposium Tokyo 2025 に関するSEI特集号 への投稿依頼について
- 幹6-22 令和6年度 複合構造委員会・幹事会開催日程

議事内容：

### 1. 委員長挨拶

- ・牧委員長より，開会の挨拶がなされた。

### 2. 複合構造委員会第 5 回幹事会議事録(案)（幹 6-1）

- ・皆田幹事長より説明があった。

⇒第2回の親委員会の議事録(案)(幹5-2)については、第3回の親委員会での確認後に決定版としてHPにアップする。

### 3. 令和5・6年度複合構造委員会幹事会業務分担(幹6-2)

- ・皆田幹事長より2点の懸案事項の説明があり、議論を行った結果、以下の通りとなった。
  - 一覧表の牧委員長の外部委員会の欄に示方書連絡会議の記載があるがこれは削除する(設計の基本WGに協力する可能性があるが、複合構造委員会としてオフィシャルに参加するのは北根幹事、斉藤(成)委員の2名とする)。
  - 親委員会委員から期中の委員交代の打診があったが、やむを得ない事情を除き任意に交代することは出来ないため断ることとする。ただし、委員が参加できない際に代理出席要請があった場合は認める方向で考える。

### 4. 令和5年度委員会予算執行状況(幹6-3)

- ・皆田幹事長より説明があり、追加の出費予定がある場合は早急に連絡するよう指示があった。
  - ・複合構造レポートを委員全員に進呈することについての議論がなされた。
    - メリット: 委員へのサービスを厚くすることによる参加意欲の向上、小委員会活動の情報共有
    - デメリット: 委員会予算の圧迫、書籍販売価格のアップ、委員の講習会参加率の低下
- ⇒印刷部数、講習会規模に依るため、今後は幹事会で行事計画・出版計画のチェックを行うとする。

### 5. 令和6年度全国大会研究討論会(幹6-4)

- ・塩畑幹事より仮の開催体制で計画書を作成し、9/2or3のWEB開催で申し込み済みとの説明があった。

### 6. 令和6年度全国大会共通セッション(幹6-5)

- ・皆田幹事長よりCS6部門に採用された連絡が2月に届いているとの説明があった。
- ⇒プログラム編成及び座長割り当ては例年通り4月中旬から開始される予定。

### 7. 第10回FRP複合構造・橋梁に関するシンポジウム(幹6-6-1,2)

- ・皆田幹事長より1/19にシンポジウム小委員会が開催されて、その結果、会告が既にアップされたとの説明があった。また、大山副委員長より、DVDの配布をやめたことで参加費が下がったこと、代わりにHPにデータをアップする件について仁平委員と岡崎さんで話を進めることについて説明があった。

### 8. 土木学会論文集特集号(幹6-7)

- ・皆田幹事長より説明があった。

### 9. 複合構造の継続教育(幹6-8)

- ・中村幹事より、各WGおよび合同WGを4~5月に開催する予定があるとの説明があった。

### 10. 300年暴露PJ報告(幹6-9)

- ・皆田幹事長より、大工大に置いてあるずれ止め試験体への銘板取付け完了の説明があった。
- ・中村幹事より、FRP の試験は来年度から本格的に進めるが、土木研究所の窓口となる櫻庭幹事の後任については早急に確認することの説明があった。

#### 11. 出版関連報告（幹 6-10）

- ・皆田幹事長より説明があった。今回は FRP 関連の書籍販売数が少し増えた。

#### 12. ホームページ関連報告

- ・山本幹事より、4 月以降に本格的な改良の着手を行うとの説明があった。

#### 13. 小委員会報告審議事項

##### (1) H101 複合構造標準示方書小委員会（幹 6-12）

- ・牧委員長より説明があった。
  - ⇒ 3/末を目途に構造物編等の原案を取りまとめる予定であり、その後、資料編を取りまとめてから意見照会を経て、2024 年度末発刊となる予定。

##### (2) H109 複合構造技術の発展に関する調査小委員会（幹 6-13）

- ・牧委員長より、6 月に第二東名の現場見学を行い、それとは別に第 6 回委員会の開催を予定しているとの説明があった。
  - ⇒ 中村幹事への委員参加の要請があり、幹事会として承認された。今後、親委員会で審議（メール審議）を諮っていただく。

##### (3) H110 Society5.0 に向けた社会インフラの管理システム構築のための調査研究（幹 6-14）

- ・塩畑幹事より、アンケート結果を取りまとめた後に、第 3 回委員会を開催予定との説明があった。
  - ⇒ 重点研究課題として、4/15 までに概要 800 字を土木学会に提出し、5/10 の 13:30～14:00 に報告を行う流れとなる。塩畑幹事がある程度まで対応し、必要に応じて各委員へ協力要請がなされる。

##### (4) H220 グリーングレーハイブリッドインフラの評価に関する研究小委員会（幹 6-15）

- ・川端幹事より、グリーンインフラジャパン 2024 のパネルディスカッションに参加したので、今後 Youtube 配信などの対応を行うとし、第 10 回委員会を 4 月に開催する予定との説明があった。

##### (5) H221 樹脂・FRP材料による複合技術研究小委員会（幹6-16）

- ・橋本幹事より、春頃に第 6 回委員会を開催する予定との説明があった。

##### (6) H222 複合構造におけるプレハブ・プレキャスト工法の活用に向けた研究小委員会

- ・内藤幹事より、5 月に見学会と合わせて委員会を開催する予定との説明があった。

#### 14. その他（幹 5-19～幹 5-30）

(1) 構造系研究委員会のカーボンニュートラルに関する PD について (幹 6-18)

- ・川端幹事よりアンケート結果の取り纏めに対する説明があった。また、牧委員長より、この取り纏め資料を複合構造委員会からの提案とし、他の委員会と議論によって醸成されていくことに期待したいとの説明があった。
  - ⇒ パネルディスカッションの開催は来年度中が目標。
  - ⇒ 他の委員会ではこのテーマに対応した小委員会があるので (例えば、鋼構造委員会)、複合構造委員会でも必要に応じて小委員会を立ち上げて対応する (コンクリート委員会の小委員会は活動期間が終わっているので既存の委員会に対応することになる見通し)。
  - ⇒ 木材の委員会も内容として近いが、委員会数を絞ってきた経緯もあるので声掛けは見送る。

(2) IABSE Journal への投稿について (幹 6-21)

- ・牧委員長より、来年 5 月に東京で開催される IABSE の Journal に対して、中村(俊)顧問より投稿要請を受けたことの説明があった (4 月末までに 3000 字)。
  - ⇒ グリーングレイインフラについて、川端幹事が窓口となって対応することとするが、1 か月程度の締切延長が可能か中村顧問に直接打診する。
  - ⇒ その他、新材料・FRP などに関しては親委員会に紹介して投稿を募るとする。

(3) 4th-JSCE-CCES ジョイントシンポジウム

- ・牧委員長より延期となったことの説明があった。

(4) 表彰制度の創設等について

- ・前回の幹事会に引き続き、昨年ご逝去された渡辺委員に対しての複合構造委員会からの表彰制度の設立等について議論を行った。
  - ⇒ 複合の論文集特集号へ追悼論文を掲載することは可能であるが今年度の発刊スケジュールには間に合わない。土木学会誌の追悼記事は対象が名誉会員のようなので難しいと思われる。幹事会ではさらに議論を継続する。
  - ⇒ 2025 年度もしくは 2026 年度に開催予定となる複合構造委員会の 20 周年記念行事で配布される記念誌に、2018 年にご逝去された栗田先生の追悼記事と合わせて掲載することは幹事会の決定事項として対応を進める。

(5) 学会等からの連絡事項

- ・皆田幹事長より以下の件について説明があった。
  - 令和 6 年度能登半島地震調査団の派遣について (幹 6-19)
  - 令和 6 年度「かけはし賞」について (幹 6-20)

15. 令和 6 年度複合構造委員会・幹事会日程 (幹 6-22)

- ・皆田幹事長より説明があった。

## 16. 閉会挨拶

- ・大山副委員長より，閉会の挨拶がなされた。

以 上

(記録：齋藤)